

内科研修分野総合プログラム

カリキュラム責任者：花谷彰久

＜一般目標 GIO: General Instructional Objective＞

疾患を全人的にとらえ診察、診断および治療を行うことは、将来内科専門医を目指す者だけでなく、すべての医師に共通する礎となる。

初期研修医には基本となる医療面接、身体診察、各種検査・手技についての理解を深め、習得し、それに基づいた病態の評価、検査・治療計画を作成し、適切なコンサルテーションができる態度と能力を養うことを目標とする。

＜行動目標 SBO: Specific Behavioral Objective＞

1 年次は、総合診療科、循環器内科、血液内科、消化器内科、糖尿病内科、呼吸器内科の各専門診療科より 2 もしくは 3 診療科をローテートし、計 6 ヶ月（24 週以上）の内科研修を行う。地域の拠点病院の役割として、いずれの診療科においても専門的な疾患のみならず common disease を担当することで内科疾患に対する幅広い知識を習得することができる。

チーム医療の一員としての役割を理解し、他職種との連携、専門科へのコンサルテーション、患者家族との関係構築などを実践することができる。

2 年次の選択科目研修においては臓器別の専門研修を行い、将来の専門医取得に向けた門戸とすることができる。

＜方略 LS: Learning Strategies＞

選択科において患者を担当し、指導医とともに診察・検査・治療法を習得し、疾患に対する知識を深める。

各科における症例検討会、回診、CPC、カンファレンス、学会発表に参加する。

＜評価方法 EV: Evaluation＞

各診療科を研修中は、指導医・スタッフにより形成的評価を行う。研修終了時には PG-EPOC を用いた自己評価、指導医による評価、他職種による 360 度評価を行う。